

久留女木の棚田で田植え

静岡文化
芸術大生 収量増目指し丁寧

浜松市北区引佐町の久留女木の棚田で米作りに取り組む静岡文化芸術大(中区)の学生がこのほど、田植を行った。3年目を迎えた取り組みで、300

浜松市北区引佐町の久留女木の棚田で米作りに取り組む静岡文化芸術大(中区)の学生がこのほど、田植を行った。3年目を迎えた取り組みで、300

の仲井政雄さん(67)の指導を受けながら、水田を効率的に使うため等間隔になるよう苗を丁寧に植えていった。繁忙期以外も週1回は棚田を訪れ、除草作業などに励む。秋頃に収穫して、同大生協などで販売する予定。文化政策学部の船戸修一准教授が担当する地域連携の科目の1環。米の栽培から販売までを行い、農地の保全や中山間地のビジネスモデルの確立につなげる狙い。



田植えに取り組む学生
＝浜松市北区引佐町の久留女木の棚田